

会議名	運輸安全マネジメント会議					作成日	2019年5月31日		
日時	2019年5月8日		15:40	～	17:30	作成者(回覧時戻り)	広報		
						場所	本社会議室		
テーマ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4/2の運輸マネジメント会議の決め事の再確認</li> <li>・4月の事故報告</li> <li>・各業務部より</li> </ul>			資料					
出席者 および回 覧範囲	(本部)	5名	(運行)	3名	(営業)	2名	(車両管理)	検印	
議事	○ 4/2のマネジメント会議の決め事の再確認								
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日バス協会会議に参加した感想 → ダメなものはダメだと徹底していかないといけない。 決まりができていない会社は処分の対象になってしまう</li> <li>・適正化対象項目 → 乗務員台帳、点呼、乗務記録、教育関係、適性診断、指示書、運賃マネジメント評価</li> </ul>								
	○ 4月の事故報告								
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・神戸バス事故について → 40年経験者、脇から声をかけられてブレーキとアクセルを踏み間違えた事が原因 ヒューマンエラーによって引き起こされた事故である</li> <li>・自社物損事故 → 3件発生(内、バックによる物損2件) 故障は仕方ないが事故防げるもの。点検をしっかりと行い、運行はしっかりと安全確認を！</li> </ul>								
	○ 各業務部より								
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運行部 → 運行時間オーバーを防ぐ為に、受注の段階で時間オーバーにならないか考えてほしい シーズン中は多少仕事の量が多くても仕方はないが、その他の時期は仕事の量と割り振りを考えてほしい 運転士不足もあるため、配車の時点でどうにも出来ないという現状がある 今いる乗務員の確保と教育の徹底を！ 点呼簿は出庫・帰庫時間の記載を増やす事により、見える化(16時間オーバー防止) 点呼時に事故を起こした事例を出し、十分な注意と防止対策を指導する</li> </ul>								

会議名	運輸安全マネジメント会議	日時	2019年5月8日
議事	<p>・営業部 → 数字をあげる、仕事をとるのが営業。安全第一で考えるように前後の仕事を見て 仕事を受けることには無理がある 交代運転手、乗務員の人数を増やすなどの対応をして改善してほしい</p>		
	<p>・本部 → 事故の抑止として、情報の共有化、無事故ゼロ運動の掲示をしていく 事故や故障があった時の対応、情報はどのように、どこまで伝えるのか？ それらの報告は翌日に報告書なりの提示をする 千葉営業所の整備管理者登録者の人数を増やす 実績をみて運行、営業もこれからの運行状況や内容のチェックをする 内部監査を今年度実施する予定 引受書の段階での出庫・帰庫と、実運行での出庫・帰庫の時間を詰めているか ホームページの更新は来週中に行います(5/15頃)</p>		